



取扱説明書

DuraVision® FDWX1905W

カラー液晶モニター

重要

ご使用前には必ずこの取扱説明書およびセットアップマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

-
- ・ モニターの設置 / 接続については、セットアップマニュアルを参照してください。
 - ・ 取扱説明書を含む最新の製品情報は、当社のWebサイトから確認できます。

www.eizo.co.jp

-
- 1.本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
 - 2.本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
 - 3.本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
 - 4.本製品の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
-

この製品について

使用について

この製品は、監視カメラ画像表示用途に適しています。

製品の仕様は販売地域により異なります。販売地域外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。
This product has been adjusted specifically for use in the region to which it was originally shipped. If the product is used outside the region, it may not operate as specified in the specifications.

本書に記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。

本書に定められている仕様は、付属の電源コードおよび当社が指定する信号ケーブル使用時にのみ適用いたします。

この製品には、当社別売オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

液晶パネルについて

モニターの表示が安定するまでに、約30分（当社測定条件による）かかります。モニターの調整は電源を入れて30分以上経過するまでお待ちください。

長時間使用することによる画面品位の劣化を抑え、長くご使用いただくには、輝度を下げて使用されることをお勧めします。

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。長時間同じ画像を表示するようなときには、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。表示する画像によっては、短い時間でも残像が見えることがあります。その場合、画像を変更したり、数時間電源を切った状態にすると、解消されることがあります。

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素が見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。なお、有効ドット数の割合は99.9994%以上です。

液晶パネルに使用されるバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、別紙「お客様ご相談窓口のご案内」に記載の窓口にお問い合わせください。

液晶パネル面や液晶パネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、液晶パネル面に圧力を加えたままにしておくと、液晶の劣化や、液晶パネルの破損などにつながる恐れがあります。（液晶パネルを押した跡が残った場合、画面全体に白い画像または黒い画像を表示すると解消されることがあります。）

液晶パネルを固い物や先のとがった物などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷が付く恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

設置について

ラッカー系の塗料を使用した机にこの製品を置くと、スタンドの底面に使用しているゴムの成分により、色が付着する場合があります。ご使用前にご確認ください。

この製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

モニターを筐体に組み込む際は、モニター内部や液晶パネルに静電気の影響を与えることがありますので、アースを必ず取ってください。

メンテナンスについて

この製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをお勧めします（「[クリーニングの仕方](#)」（P.4）参照）。

クリーニングの仕方

キャビネットや液晶パネル面の汚れは、少量の水をしめらせたやわらかい布、またはScreenCleaner（別売オプション品）を使用して、やさしくふき取ってください。

注意点

- アルコール、消毒薬などの薬品は、キャビネットや液晶パネル面の光沢の変化、変色、色あせ、画質の劣化などにつながる恐れがあります。
 - シンナー、ベンジン、ワックス、研磨クリーナーは、キャビネットや液晶パネル面をいためるため絶対に使用しないでください。
-

モニターを快適にご使用いただくために

- 画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- 長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1時間に約10分の休憩を取ってください。

目次

この製品について	3
クリーニングの仕方	4
モニターを快適にご使用いただくために	4
目次	5
第1章 はじめに	6
1-1. 特長	6
第2章 基本の調整 / 設定	7
2-1. スイッチの操作方法	7
2-2. 入力信号を切り替える	8
2-3. 明るさを調整する	8
2-4. 音量を調整する	8
第3章 詳細な調整 / 設定	9
3-1. 設定メニューの基本操作方法	9
3-2. 設定メニューの各機能	10
● カラー調整	10
● 信号設定	12
● 本体設定	15
● 言語選択	16
● インフォメーション	16
第4章 管理者向け設定	17
4-1. 「Administrator Settings」メニューの 基本操作方法	17
4-2. 「Administrator Settings」メニューの 各機能	18
第5章 こんなときは	19
5-1. 画面が表示されない場合	19
5-2. 画面に関する症状 (デジタル、アナログ共通)	20
5-3. 画面に関する症状 (アナログのみ)	21
5-4. その他の症状	22
付録	23

商標	23
ライセンス	23
VCCI	23

第1章 はじめに

このたびは当社カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

1-1. 特長


- 18.5型ワイド画面
- 解像度1366×768対応
解像度1920×1080の入力信号を、縮小表示することが可能です。
- 4系統の信号入力に対応（DisplayPort（HDCP）×1、HDMI TypeA（HDCP）×1、DVI-D（HDCP）×1、D-Sub15ピン（ミニ）×1）
 - DisplayPort（8bit対応）※1
映像信号と音声信号を、1本のDisplayPort（オプション）ケーブルで転送できます。
※1 DisplayPortケーブルを使って音声信号を伝送する場合、ご使用のグラフィックスボードが、音声出力に対応している必要があります（セットアップマニュアル「仕様」参照）。
 - HDMI
HDMI入力でコンピュータの信号に対応。
映像信号と音声信号を、1本のHDMIケーブルで転送できます。
- 省電力
 - 消費電力を抑えることで、二酸化炭素排出量の削減につながります。
- 主電源オフ時消費電力0W
主電源スイッチを装備。
モニターを使用しない時は、主電源を切ることで電力が消費されなくなります。
- HDCP（著作権保護技術）※2により保護されたコンテンツを表示可能
※2 HDCP Version 1.x対応
- Up View機能搭載
製品の画面を下方向から見た場合でも、色の変位を目立たせずに安定した表示で見ることができ、高い場所への設置も可能です。
- AR-05※3
セキュリティルームやサーバールームなどのラックに取り付けるための19型専用金具です。組み立てが不要で簡単に取り付けることができ、スピーカーの音がクリアに聞こえる構造です。
詳細は、当社のWebサイト（www.eizo.co.jp）を参照してください。
※3 AR-05（19型ラックの専用金具）はオプション品です。
- 24時間連続使用で2年間の長期保証

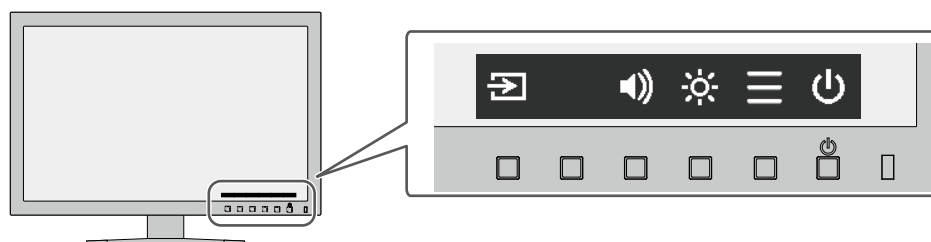
第2章 基本の調整 / 設定

この製品は、使用環境やお好みに合わせて明るさを変えたり、消費電力を抑えて使用することができます。この章では、モニター前面のスイッチを押すことで調整 / 設定できる基本の機能を説明します。設定メニューを使って詳細に調整 / 設定する方法については「[第3章 詳細な調整 / 設定](#)」(P.9)を参照してください。





2-1. スイッチの操作方法

1. 操作ガイドの表示


1. いずれかのスイッチを押します（を除く）。
画面に操作ガイドが表示されます。



2. 調整 / 設定

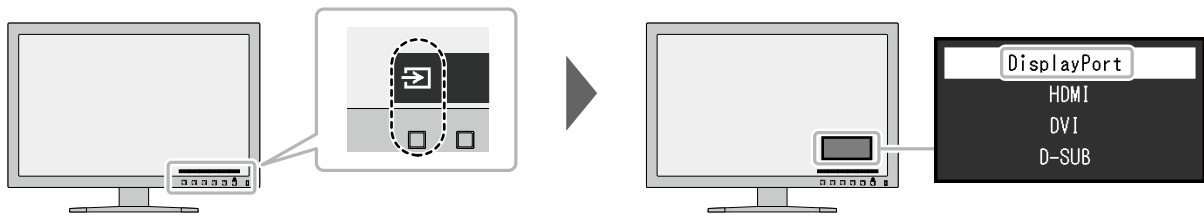
1. 調整 / 設定したいスイッチを押します。
調整 / 設定メニューが表示されます。
(サブメニューが表示される場合もあります。その場合は、  で調整 / 設定したい項目を選択し、 を選択します。)
2. 各スイッチで調整 / 設定し、 を選択して確定します。

3. 終了

1.  を選択してメニューを終了します。

2-2. 入力信号を切り替える

モニターに複数の信号を入力している場合、画面に表示する信号を切り替えることができます。



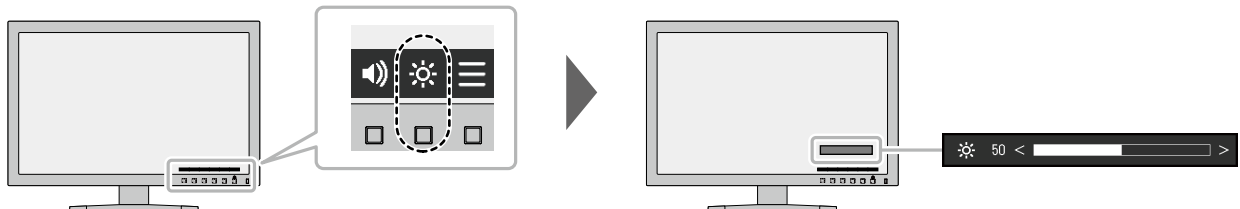
2-3. 明るさを調整する

設置環境やお好みに合わせて、画面の明るさを調整できます。

バックライト（液晶パネル背面の光源）の明るさを変化させて、画面の明るさを調整します。

設定値

0～100

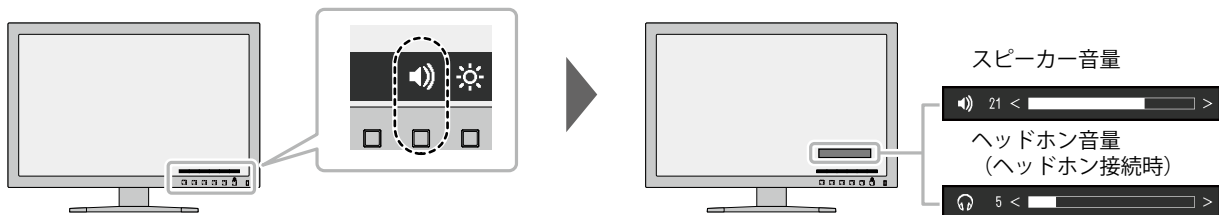


2-4. 音量を調整する

スピーカーとヘッドホンの音量を、個別に設定することができます。

設定値

0～30



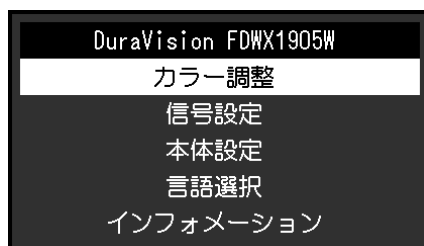
第3章 詳細な調整 / 設定

この章では、設定メニューを使ってモニターを詳細に調整 / 設定する方法を説明します。
基本的な機能については、「第2章 基本の調整 / 設定」(P.7)を参照してください。

3-1. 設定メニューの基本操作方法

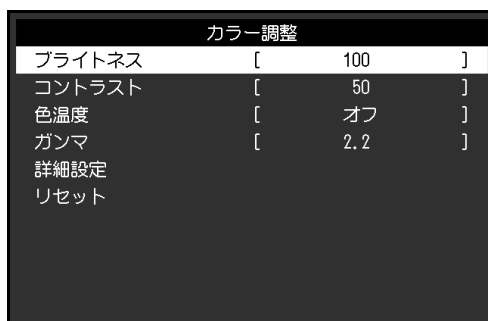
1. メニューの表示

1. いずれかのスイッチを押します（ \oslash を除く）。
操作ガイドが表示されます。
2. \equiv を選択します。
設定メニューが表示されます。



2. 調整 / 設定

1. \uparrow \downarrow で、調整 / 設定したいメニューを選択し、 \checkmark を選択します。
サブメニューが表示されます。



2. \uparrow \downarrow で、調整 / 設定したい項目を選択し、 \checkmark を選択します。
調整 / 設定メニューが表示されます。



3. \uparrow \downarrow または \leftarrow \rightarrow で、調整 / 設定し、 \checkmark を選択して確定します。
サブメニューが表示されます。
調整 / 設定中に \times を選択すると、調整 / 設定を中止して変更前の状態に戻ります。

3. 終了

1. \times を数回選択すると、設定メニューが終了します。

3-2. 設定メニューの各機能

● カラー調整

カラーモードの設定状態を、お好みに合わせて調整できます。



注意点

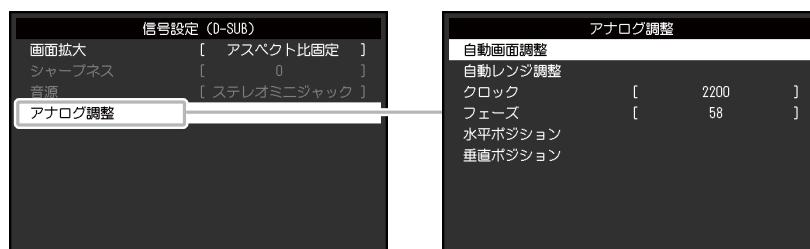
- モニターの表示が安定するまでに、約30分かかります。モニターの調整は電源を入れて30分以上経過するまでお待ちください。
- モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色味を近づけるには、次の手順で調整してください。
 1. それぞれのモニターに白い画面を表示する。
 2. いずれか1台のモニターを基準に視覚的に判断しながら、「ブライトネス」「色温度」「ゲイン」を微調整する。

機能		設定値	説明
ブライトネス		0～100	<p>バックライト（液晶パネル背面の光源）の明るさを变化させて、画面の明るさを調整します。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブライトネスが100でも暗いと感じた場合はコントラスト調整をおこなってください。
コントラスト		0～100	<p>ビデオ信号のレベルを变化させて、画面の明るさを調整します。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・50ですべての色階調を表示します。 ・画面の明るさは、初めに、階調特性を損なうことのないブライトネスで調整することをお勧めします。 ・コントラスト調整は次のような場合に使用してください。 <ul style="list-style-type: none"> - ブライトネスが100でも画面が暗いと感じたとき。（コントラストを50以上に設定します。）
色温度		オフ 4000K ～10000K (500K単位、 9300K含む)	<p>色温度を調整します。</p> <p>通常「白」または「黒」の色合いを数値的に表現するとき用いられるもので、K：Kelvin（ケルビン）という単位で表します。</p> <p>炎の温度と同様に、画面は色温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。また、色温度の設定値ごとにゲインのプリセット値が設定されています。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「K」表示は調整の目安としてご利用ください。 ・「ゲイン」でさらに詳細な調整が可能です。 ・「オフ」で液晶パネル本来の色（ゲインの値はRGB各100）になります。 ・ゲインの値を変更すると、色温度は「オフ」になります。
ガンマ		1.8 2.0 2.2 2.4	<p>ガンマ値を調整します。</p> <p>モニターは入力される信号によって明るさが変化しますが、この変化率は入力信号と単純な比例関係にありません。そのため入力信号と明るさの関係が一定の関係になるよう制御をおこなうことをガンマ補正といいます。</p>
詳細設定	色合い	-50～50	<p>色合いを調整します。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。
	色の濃さ	-50～50	<p>色の濃さを調整します。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。 ・最小値（-50）で白黒の画面となります。
	ゲイン	0～100	<p>色を構成する赤、緑、青のそれぞれの明るさをゲインと呼びます。これを調整することで、「白」の色調を変更することができます。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。 ・色温度の値に応じてゲインの値が変わります。 ・ゲインの値を変更すると、色温度は「オフ」になります。
リセット		—	カラー調整値を初期設定に戻します。

● 信号設定

画面の表示サイズやカラーフォーマットなど、入力信号の詳細を設定します。

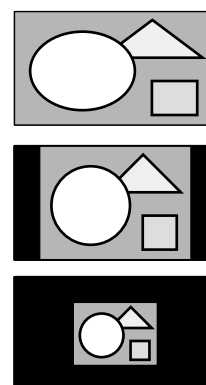
- D-Sub入力の場合



- DisplayPort / HDMI / DVIの場合



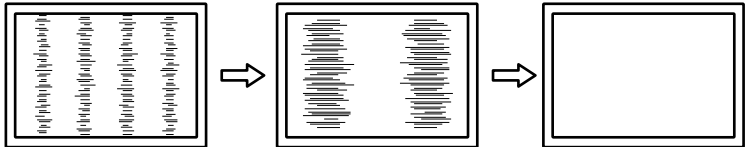
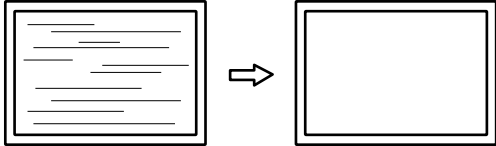
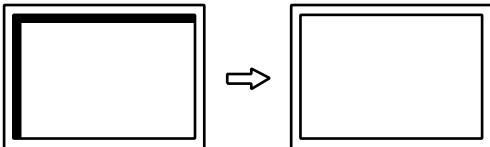
機能	設定値	説明
画面拡大	自動※1 フルスクリーン アスペクト比固定 等倍	<p>モニター画面に表示するサイズを切り替えることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「自動」 コンピュータから送信されてくるアスペクト比情報と解像度情報に応じて、自動的に表示サイズを切り替えます。 • 「フルスクリーン」 画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率は縦、横一定ではないため、表示画像に歪みが見られる場合があります。 • 「アスペクト比固定」 画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率を縦、横一定にするため、水平、垂直のどちらかの方向に画像が表示されない部分が残る場合があります。 • 「等倍」 設定した解像度のまま、または入力信号のままの大きさで画像が表示されます。 <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> • 設定例 <ul style="list-style-type: none"> - フルスクリーン - アスペクト比固定 - 等倍（入力信号）



機能	設定値	説明
シャープネス	-2～2	<p>低解像度を画面拡大（「フルスクリーン」または「アスペクト比固定」）で表示した場合、表示された画像の文字や線が、ぼやけて見える場合があります。このぼやけを軽減することができます。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> 表示解像度によってはシャープネスを設定する必要はありません。（「シャープネス」を選択することはできません。）
カラーフォーマット	自動 YUV 4:2:2 ^{※1} YUV 4:4:4 ^{※1} YUV ^{※2} RGB	<p>入力された信号のカラーフォーマットを指定できます。正しい色が表示できない場合に、設定を変更してみてください。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> DisplayPort、HDMI入力の場合のみ設定できます。 DVI-HDMI変換コネクタを使用して、DVI機器をモニターのHDMIコネクタに接続している場合、設定が必要です。 DVI信号入力時は、設定が「RGB」に固定されます。
入力レンジ	自動 フル リミテッド	<p>コンピュータによっては、モニターに出力する信号のビデオレベルの黒および白が制限されていることがあります。制限されたままモニターに信号を表示すると、黒が淡く、白がくすんで表示され、コントラストが低下します。このような信号を、モニター本来のコントラスト比になるように、出力レンジを拡張して表示することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「自動」 入力信号の輝度レンジを自動的に判別し、適切に表示します。 「フル」 信号の出力レンジの拡張をおこないません。 「リミテッド」 信号の出力レンジを0～255に拡張して表示します。 <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> DisplayPort、HDMI入力の場合のみ設定できます。 DVI信号入力時は、設定が「フル」に固定されます。 「カラーフォーマット」で「YUV」を選択すると、設定が「リミテッド」に固定されます。また、「自動」を選択しているときでも、モニターがYUVと判別した場合は、設定が「リミテッド」に固定されます。
音源	ステレオミニジャック DisplayPort ^{※2} HDMI ^{※1}	<p>DisplayPort入力端子接続時またはHDMI入力端子接続時に、音源を切り替えることができます。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> DVI入力端子接続時、D-Sub入力端子接続時は、設定が「ステレオミニジャック」に固定されます。 HDMI入力端子接続時でも、DVI信号を変換して入力している場合は、「ステレオミニジャック」に固定されるときがあります。

※1 HDMI入力の場合のみ有効

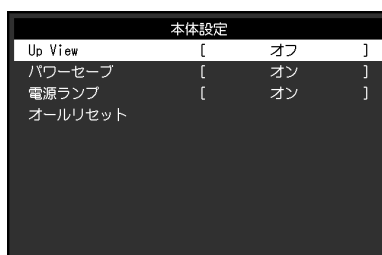
※2 DisplayPort入力の場合のみ有効


機能	説明
アナログ調整※3	<p>自動画面調整</p> <p>画面のちらつき、表示位置、サイズを自動調整することができます。「自動画面調整」を選択すると、メッセージが表示されますので、「はい」を選択してください。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動画面調整機能は画面の表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。次のような場合には、正しく動作しません。 <ul style="list-style-type: none"> - コマンドプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合 - 壁紙など背景を黒で使用している場合 また、一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。 モニターに初めて信号を入力した場合、またはこれまでに表示したことのない解像度や垂直走査周波数、水平走査周波数に変更した場合は、自動的に調整されます（解像度が800×600（SVGA）以上の信号のみ）。
自動レンジ調整	<p>信号の出力レベルを調整し、すべての色階調（0～255）を表示できるように自動調整できます。「自動レンジ調整」を選択すると、メッセージが表示されますので、「はい」を選択してください。</p>
クロック	<p>画面の縦線や画面の一部に見られるちらつきを軽減できます。</p>  <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定が合ったポイントを見逃しやすいので、操作スイッチ（< >）を押して、細かく調整してください。
フェーズ	<p>画面全体のちらつきやにじみを軽減できます。</p>  <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> お使いのコンピュータやグラフィックスボードによっては、完全になくなるものがあります。 設定後、画面に縦縞が現れた場合は、再度「クロック」を調整してください。
水平ポジション 垂直ポジション	<p>画面の表示位置（水平、垂直）を調整できます。</p>  <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> 液晶モニターは画素数および画素位置が固定であるため、画像の正しい表示位置は1箇所です。ポジション調整とは画像を正しい位置に移動するための調整です。

※3 D-Sub入力の場合のみ有効

● 本体設定

使用環境やお好みに合わせて、モニター本体の設定をおこないます。



機能	設定値	説明
Up View	オフ -20° -40°	下方向から画面を見た場合に、色の変位を目立たせずに表示させることができます。
パワーセーブ	オン オフ	<p>コンピュータの状態と連動して、モニターを省電力モードにすることができます。</p> <p>信号が入力されなくなったことを検出してから、約15秒後に省電力モードに移行します。</p> <p>省電力モードに移行すると、画面を非表示にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 省電力モードからの復帰方法 <ul style="list-style-type: none"> - モニター前面の操作スイッチ（を除く）を押す - モニターに信号が入力される <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> 省電力モードの移行の5秒前になると、移行をお知らせするメッセージが表示されます。 モニターを使用しないときは、主電源を切るか、電源プラグを抜くことで電力が消費されなくなります。 ステレオミニジャックケーブルが接続されている場合、消費電力は変化します。
電源ランプ	オン オフ	通常動作モードの電源ランプ（青）を消灯することができます。
オールリセット	—	<p>次の設定を除く、すべての設定内容を初期設定に戻します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「Administrator Settings」メニュー内の設定

● 言語選択

メニューやメッセージの表示言語を選択することができます。

設定値

英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、スウェーデン語、日本語、簡体中国語、繁体中国語



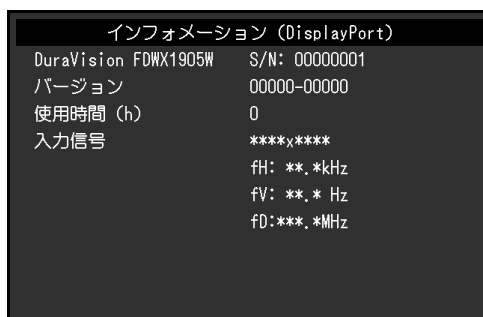
注意点

- ・「Administrator Settings」メニューの表示言語は変更されません。
-

● インフォメーション

モニターの情報（製品名、製造番号（S/N）、ファームウェアバージョン、使用時間）と、入力信号の情報を確認できます。

例：



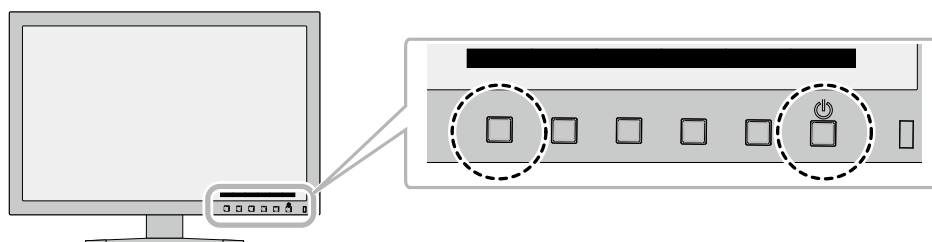
第4章 管理者向け設定

この章では、「Administrator Settings」メニューを使ってモニターの動作を設定する方法を説明します。

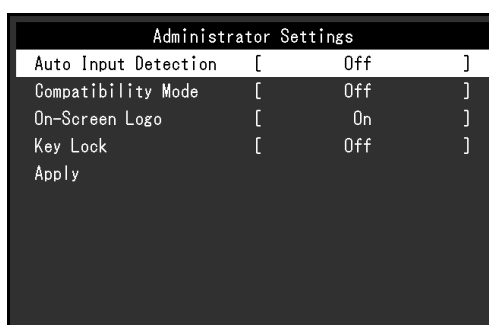
4-1. 「Administrator Settings」メニューの基本操作方法

1. メニューの表示

1. ① を押し、モニターの電源を切ります。
2. 一番左側のスイッチを押しながら、① を2秒以上押してモニターの電源を入れます。

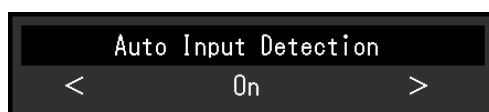


「Administrator Settings」メニューが表示されます。



2. 設定

1. **▲ ▼** で、設定したい項目を選択し、**✓** を選択します。
調整 / 設定メニューが表示されます。



2. **< >** で、設定し、**✓** を選択します。
「Administrator Settings」メニューが表示されます。

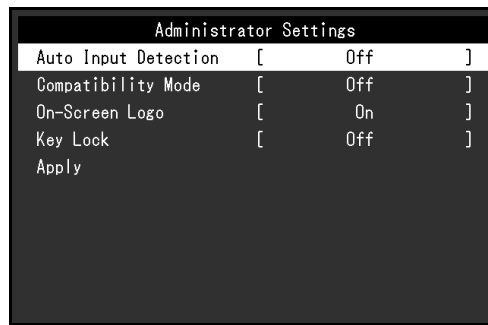
3. 確定と終了




1. 「Apply」を選択し、**✓** を選択します。
設定が確定し、「Administrator Settings」メニューが終了します。

注意点

- ・「Administrator Settings」メニューの言語（英語）は変更できません。

4-2. 「Administrator Settings」メニューの各機能



機能	設定値	説明
Auto Input Detection	On Off	<p>信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を表示することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「On」 複数のコンピュータを接続している場合に、特定のコンピュータが省電力モードに入ったりモニターへの入力信号が失われたときは、信号が入力されている他のコネクタに自動的に切り替わります。 ・「Off」 信号が入力されているかどうかにかかわらず、選択しているコネクタからの信号が表示されます。この場合は、モニター前面の操作スイッチ（) で表示する入力信号を選択できます。詳細は「2-2. 入力信号を切り替える」(P.8) を参照してください。 <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この機能の設定にかかわらず、背面の主電源スイッチを入れた直後は、信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を表示します。 ・この機能が「On」に設定されている場合は、すべてのコンピュータから信号が入力されなくなったときのみ、モニターの省電力機能が動作します。
Compatibility Mode	On Off	<p>次の現象を回避したい場合は、この機能を「On」に設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モニターの電源をオフ / オンした場合や省電力モードからの復帰時に、ウィンドウやアイコンの位置がずれる。 ・コンピュータのパワーセーブ機能が正常に動作しない。
On-Screen Logo	On Off	<p>この製品の電源を入れると、画面にEIZOロゴが表示されます。</p> <p>この機能を「Off」に設定すると、EIZOロゴを非表示にすることができます。</p>
Key Lock	Off Menu All	<p>設定した状態を変更できないように、モニター前面の操作スイッチをロックすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Off」（初期設定） すべてのスイッチが有効です。 ・「Menu」  スイッチをロックします。 ・「All」  スイッチを除くすべてのスイッチをロックします。

第5章 こんなときは




5-1. 画面が表示されない場合

症状	対処方法
1. 画面が表示されない <ul style="list-style-type: none"> 電源ランプが点灯しない 	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードは正しく接続されていますか。 背面の主電源スイッチを入れてください。 ⏻を押してください。 背面の主電源スイッチを切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。
<ul style="list-style-type: none"> 電源ランプが点灯：青色 	<ul style="list-style-type: none"> 設定メニューの「ブライトネス」、「コントラスト」、「ゲイン」の各調整値を上げてみてください（「カラー調整」（P.10）参照）。
<ul style="list-style-type: none"> 電源ランプが点灯：橙色 	<ul style="list-style-type: none"> 入力信号を切り替えてみてください。 「Administrator Settings」メニューの「Compatibility Mode」で、設定を「On」にしてください（「Compatibility Mode」（P.18）参照）。 マウス、キーボードを操作してみてください。 コンピュータの電源は入っていますか。 背面の主電源スイッチを切り、もう一度スイッチを入れてみてください。
2. 次のようなメッセージが表示される	この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正しく入力されないときに表示されます。
<ul style="list-style-type: none"> 信号が入力されていない場合の表示です。 例： <div style="background-color: black; color: white; padding: 10px; text-align: center;"> DisplayPort 入力信号無し </div>	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータによっては電源を入れても信号がすぐに出力されないため、左のような画面が表示されることがあります。 コンピュータの電源は入っていますか。 信号ケーブルは正しく接続されていますか。 入力信号を切り替えてみてください。 背面の主電源スイッチを切り、もう一度スイッチを入れてみてください。
<ul style="list-style-type: none"> 入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です。 例： <div style="background-color: black; color: white; padding: 10px; text-align: center;"> DisplayPort 信号エラー </div>	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（詳細はセットアップマニュアルを参照してください）。 コンピュータを再起動してみてください。 グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な設定に変更してください。詳細はグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。


5-2. 画面に関する症状（デジタル、アナログ共通）

症状	原因と対処方法
1. 画面が明るすぎる / 暗すぎる	<ul style="list-style-type: none"> 設定メニューの「ブライトネス」、「コントラスト」を調整してください（「カラー調整」（P.10）参照）。（液晶モニターのバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、お客様ご相談窓口にお問い合わせください。）
2. 文字や画像がぼやけて見える	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（詳細はセットアップマニュアルを参照してください）。コンピュータの設定を変更する方法については、当社のWebサイトを参照してください（www.eizo.co.jp）。 推奨解像度以外の解像度で表示した場合、表示された画像の文字や線がぼやけて見える場合があります。設定メニューの「シャープネス」で調整してみてください（「シャープネス」（P.13）参照）。
3. 残像が現れる	<ul style="list-style-type: none"> この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することをできるだけ避けることをお勧めします。 長時間同じ画像を表示する場合は、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。表示する画像によっては、短い時間でも残像が見えることがあります。その場合、画像を変更したり、数時間電源を切った状態にすると、解消されることがあります。
4. 画面に緑、赤、青、白のドットが残る / 点灯しないドットが残る	<ul style="list-style-type: none"> これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
5. 画面上に干渉縞が見られる / 液晶パネルを押した跡が消えない	<ul style="list-style-type: none"> 画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。
6. 画面にノイズが現れる	<ul style="list-style-type: none"> HDCP方式の信号を入力した場合、正常な画面がすぐに表示されないことがあります。
7. 電源のオフ / オン時や省電力モードからの復帰時に、ウィンドウやアイコンの位置がずれる	<ul style="list-style-type: none"> 「Administrator Settings」メニューの「Compatibility Mode」で、設定を「On」にしてください（「Compatibility Mode」（P.18）参照）。
8. 画面の色がおかしい	<ul style="list-style-type: none"> 設定メニューの「カラーフォーマット」を変更してみてください（「カラーフォーマット」（P.13）参照）。
9. 画面全体に画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 設定メニューの「画面拡大」を変更してみてください（「画面拡大」（P.12）参照）。

5-3. 画面に関する症状（アナログのみ）

症状	原因と対処方法
<p>1. 画像がずれている</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 設定メニューの「ポジション」で画像の位置を合わせてください（「水平ポジション」「垂直ポジション」（P.14）参照）。 グラフィックスボードのユーティリティなどに画像の位置を変える機能があれば、その機能を使用して調整してください。
<p>2. 画面に縦線が出ている / 画面の一部がちらついている</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 設定メニューの「クロック」で調整してみてください（「クロック」（P.14）参照）。
<p>3. 画面全体がちらつく、にじむように見える</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 設定メニューの「フェーズ」で調整してみてください（「フェーズ」（P.14）参照）。

5-4. その他の症状

症状	原因と対処方法
1. 設定メニューが表示できない	<ul style="list-style-type: none">操作スイッチのロックが機能していないか確認してみてください（「Key Lock」（P.18）参照）。
2. 設定メニューの項目が選択できない	<ul style="list-style-type: none">グレーの文字で表示されている項目は、変更できません。
3. 音が出ない	<ul style="list-style-type: none">ステレオミニジャック（) にステレオミニジャックケーブルが正しく接続されていますか。音量が「0」になっていませんか。コンピュータおよび音声を再生しているソフトウェアの設定を確認してください。DisplayPort入力時およびHDMI入力時は「音源」の設定を確認してください（「音源」（P.13）参照）。
4. 電源ランプが点滅する （橙色、青色）	<ul style="list-style-type: none">コンピュータをDisplayPortコネクタに接続している場合に、この症状が発生することがあります。当社指定の信号ケーブルで接続し、モニターの電源を入れ直してみてください。背面の主電源スイッチを切り、もう一度スイッチを入れてみてください。
5. コンピュータのパワーセーブ機能が正常に動作しない	<ul style="list-style-type: none">「Administrator Settings」メニューの「Compatibility Mode」で、設定を「On」にしてください（「Compatibility Mode」（P.18）参照）。

付録

商標

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing, LLCの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

DisplayPortコンプライアンスロゴ、VESAはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。

SuperSpeed USB Trident LogoはUSB Implementers Forum, Inc.の登録商標です。



USB Power Delivery Trident LogoはUSB Implementers Forum, Inc.の商標です。



USB Type-C、USB-Cは USB Implementers Forum, Inc.の登録商標です。

DICOMは、National Electrical Manufacturers Associationが所有する、医用情報のデジタル通信に関する規格の登録商標です。

Kensington、MicrosaverはACCO Brands Corporationの登録商標です。

ThunderboltはIntel Corporationの米国および/またはその他の国における商標です。

Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

AdobeはAdobe(アドビ)の米国およびその他の国における登録商標です。

Apple、macOS、Mac OS、OS X、macOS Sierra、Macintosh、ColorSyncはApple Inc.の登録商標です。

ENERGY STARは米国環境保護庁の米国およびその他の国における登録商標です。

EIZO、EIZOロゴ、ColorEdge、CuratOR、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiCS、RadiForce、RadiNET、Raptor、ScreenManagerはEIZO株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。

ColorEdge Tablet Controller、ColorNavigator、EcoView NET、EIZO EasyPIX、EIZO Monitor Configurator、EIZO ScreenSlicer、G-Ignition、i-Sound、Quick Color Match、RadiLight、Re/Vue、SafeGuard、Screen Administrator、Screen InStyle、ScreenCleaner、UniColor ProはEIZO株式会社の商標です。

その他の会社名、商品名およびロゴマークは所有者の商標または登録商標です。

ライセンス

この製品上で表示される文字には、リコーインダストリアルソリューションズ株式会社が制作したビットマップフォントを使用しています。

VCCI

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

また、製品の付属品（ケーブルを含む）や当社が指定する別売オプション品を使用しない場合、VCCIの技術基準に適合できない恐れがあります。

